

目的：グリーン・ツーリズムの

- ・はじまり・現状を確認
- ・これからを話し合う
- ・自分の目指すグリーン・ツーリズムを探る

グリーン・ツーリズム サロン 令和元年6月19日(水)

テーマ：G Tで知りたい・目指したいこと

目標：

自分が目指す
グリーン・ツーリズムの形が
言葉になっていること

1. G Tに訪れた人にどんな気持ちになって欲しい？

「なごりおいしい」	「うれしい」	「楽しい」	「ワクワクする」	「エキゾチック」	「情熱的な」	「開放された」	「力がみなぎる」	「くつろいだ」	「刺激された」	「はまっている」	「心地よい」
自分は感動している、幸せを感じる。しかしその気持ちを相手に伝えきれないまま別れてしまう。伝えて共感したい。	農家でない人が農作業体験してくれるのが嬉しいし有難い。来るのが待ちどおしい！	一緒に作業や話をするのが楽しい。誇りを持たせてくれる。	いつもと違った場所で、色々なことを感じて帰ってほしいから。	外国人目線	夢中になれるものがあるんだ！カッコいいなあ	普段余裕がない生活…息抜きになった	明日もがんばるって思ってもらいたい	気持ちを楽しみたいから。	新しいことを知るワクワク感	日々の潤い	居場所 居心地
											

どんな気持ちになって欲しいかについて、参加者によってゲストの目線・ホストの目線があり、さまざまな意見が出ました。

大きく二分して、G Tを通して非日常的な体験をし、盛り上がった気持ちになる動的な気持ち (😊) とG Tの持つゆったりとした雰囲気ですリラックスする静的な気持ち (♥) の意見がありました。

2. そんな気持ちになってもらうために必要なことは何だろう？

「流れ」	「誠実さ」	「ふれあい」	「あいさつ」	「交流」	「楽しむこと」	「笑顔」	「やさしさ」	「挑戦すること」	「仲間」	「配慮」
感動をひき出すには一発勝負ではない。一定のプロセスが大事。出会い→体験→親睦→そして別れ	訪問者に感動を与えるものは農家の「誠実さ」であろう。相手を思いやり、自分の仕事に正面から立ち向かう姿は他者の心に近づく。	農作業しながらも軽いコミュニケーションを入れるふれあう秋田百笑村	「ただいま」「お帰り」「行ってらっしゃーい」	地域の人やものとふれあい体験	1に楽しむ 2に楽しむ 3に楽しむ	笑顔が一番！	厳しさも「やさしさ」「なんもなんも」もやさしさ	未知のもの・ことに触れる	自分の成果を共感しあう語り合えるよろこび	人と人をつなぐときの心がけ
	 	 	 		 	 	 	 	 	 

こちらもゲスト側に必要なこと (🧳)・ホスト側に必要なこと (👨‍🌾)、お互いに必要なこと (🤝) という視点から意見が出ました。

お互いにより気持ちであるために、「あいさつ」「笑顔」など実際の行動に結びつくもの (👋) と、「誠実さ」「配慮」など心に留めておきたいもの (🌸) など、お互いに心がけたいことが意見として上げられました。